

# 追跡レポート

— あの質問のゆくえ —

定例議会で質問された課題が、その後どのように町政に反映されたかを検証します。



ブナの植栽（蚕桑小学校スキー場跡地）

森林を守るためには山を守る大切な役割として、財産区などに公的な支援が必要ではないですか。

平成 15年 12月定例議会

町長答弁

「みんなで支える森林」の意識が大切  
特定の人だけが森林を守ることだけでなく、地域の方々の組織化を前提に支援の方策を検討します。

どうなった

「やまがた緑環境税」を活用した森づくり  
平成 19年度から導入された「やまがた緑環境税」により、林業の不振で管理が放棄された森林や、利用されなくなった里山の森林などを整備し、水源かん養など公益的機能を回復するため財産区を含む民有林の整備を、山形県とともに進めています。

平成 19年度実施事業  
教育の森整備事業(鮎貝地内)・ブナの森整備事業(蚕桑地内)・萩野地区水質改善事業(萩野地内)

## 議会の様子を見てください

傍聴手続きは簡単、議会事務局(85-6135)へお問い合わせください。

次の定例議会は **6月** です

● 議会中継もご覧ください  
お手持ちのパソコンでご覧いただけます  
録画でもご覧いただけるようになりました

HP <http://www.townshiratakyamagata.jp/gkai/>

議会中継

編集後記

長かった冬も終わり、春の息吹が力強く感じられるようになりました。一年は早く、昨年の今頃は、町議選真っただ中で、有権者の皆さんには大変なご迷惑をおかけしたなと思うと同時に、改めて責任の重さを感じているところです。

今、農業は、米価の下落、燃料費の高騰、輸入飼料作物の大幅値上げなどにより、経営は最悪の一途をたどっています。町は、新たに「地域農業活性化センター」を設置し、活力を生む農業を目指すとしています。センターへの期待は大きく、農家のみならず、地域全体として期待したいと思います。ピッカピッカのランドセルを背負った子供たちが誇れる白鷹町になるように、新年度を迎え決意を新たに、頑張りたいたいと思います。(佐藤)

発行責任者・議長  
**船山 仁**  
広報委員  
委員長  
青木 彰 榮  
副委員長・編集長  
関 千 鶴 子  
委員  
佐藤 誠 七  
委員  
守谷 丹 吾  
委員  
菅原 隆 男  
印刷(有)梅津印刷